

東日本大震災 聴覚障害者救援中央本部の活動 8

～皆と共に力をあわせて復興へ～

岩手県・宮城県訪問

7月1日～5日、救援中央本部から事務総括、手話通訳担当が、今後の長期的な支援計画についての調査、協議を行うために、岩手県、宮城県を訪問した。

7月1日、岩手本部の高橋本部長とともに、岩手県障がい保健福祉課を訪ね、被災聴覚障害者の実態把握調査への協力を求める。

7月2日、岩手県ろうあ協会宮古支部の方々、宮古市障害者福祉相談員と被害の大きかった田老地区を訪問した。

7月3日、第3回岩手本部会議にオブザーバーとして出席。各構成団体からの報告などが行われ、中央本部からは沿岸部の聴覚障害者の実態調査を県の協力を得て行うことを説明し、了承された。



7月4日、大船渡市保健福祉課障害福祉係職員の案内で、被災者宅を訪問。他に近所の聴覚障害者と仮設に暮らす聴覚障害者も来て一緒に昼食をとる。

7月5日、JDF宮城支援センターを訪問した。

7月5日、宮城県障害福祉課を訪問し、5月に宮城県ろうあ協会から県に提出した要望書などについて協議した。



JDF障害者支援本部中間報告会

7月13日、JDF障害者支援本部中間報告会が開催された。震災後4カ月を経たが被災地の障害者は困難な状況に置かれている。この状況を踏まえ、日本障害フォーラム(JDF)被災障害者総合支援本部の活動を中心に被災地の障害者支援活動の現状を報告するとともに、今後の復興計画を見据えながら復興に向けた課題を探った。救援中央本部からも聴覚障害者の立場で聴覚障害者の被災者に関する現状と課題を報告した。



救援中央本部・救援東北本部合同会議開催

8月7日、盛岡市のいわて県民情報交流センターにおいて、救援中央本部と救援東北本部の合同会議を開催した。

これは、全国評議員会1日目の6月10日、救援中央本部と被災3県を含む東北6県の協会の役員が集まり、情報、意見交換を行い、東北6県でまとまって支援していくことを確認したのを受けて、実施された。

